



2015 -2016 年度

国際ロータリー会長：K. R. ラビンドラン「世界へのプレゼントになろう」
第2560地区ガバナー：山本 和則「夢（gift）を明日へ繋げよう」

三条北ロータリークラブテーマ「ロータリーの輪を広げよう」

会長：外山 晴一
幹事：渋谷 義徳
SAA：石川 一昭

例会日：火曜日12:30～13:30
例会場：三条ロイヤルホテル TEL:34-8111
事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内
TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP：<http://www.sajo-nrc.org>

AD：north@sanjo-nrc.org

本日の行事：会員卓話

- ◆本日の出席：67名中35名
- ◆先々週の出席率：67名中58名 86.57%
(前年同期 86.15%)
- ◆先週のメイクアップ (敬称略)
 - 5月26日燕RC 石川勝行、山崎 勲
石黒隆夫、岡田 健、土田百合子
落合益夫、本間建雄美
 - 26日家庭会合④
瀧岡 茂、浅野潤一郎、小林幹扶
田中耕太郎、早川瀧雄、高橋研一
福岡信行、外山裕一、米山忠俊
石黒隆夫、浅間一洋、神田敬宏
下村啓治、樋口 勤、岡田 健
外山晴一、金子太一郎、佐藤秀一
 - 27日～30日ソウル国際大会
外山晴一、渋谷義徳
丸山 勝、石丸 進
 - 31日次年度親睦活動委員会
田口実仁佳、本田芳久、花井知之
土田百合子、斎藤良行、佐藤啓策
小林 進



会長挨拶：外山晴一会長



(帝国大学)

この前は旧制高等学校の話をしたので、今日は帝国大学の話をします。明治維新後の日本の国家目標は富国強兵でした。国を富ませるためには殖産興業、儲けさせて、税金をいっぱい取る。その税金を使って他国には負けない軍備と国のために死ぬ優秀な兵隊を教育することです。この目標を達成するために江戸幕府が作った昌平坂学問所、番所調所、種痘所を基に大学を作り、明治10年に日本で初めての近代的な東京大学を作りました。この大学が明治19年に帝国大学となりました。大学の先生は外国人で、外国語で授業していました。この大学の目的の一つは優秀な天皇の官僚を作り、税制はじめとした近代国家体制を作ることです。そのため帝国大学の看板学部は法学部です。今でも、国家官僚になるには東京大学法学部を出るべきです。ただ単に天皇の官僚と言っても近代国家を作るための官僚ですから、欧米の政治・経済を学び、輸入しなくてはなりません。もう一つの目的は工業化と軍備増強のため欧米の進んだ科学技術を速やかに翻訳輸入することでした。この二つの目的のために、帝国大学は語学に磨きをかけ、常に欧米を見ていました。帝国大学が1校ですとそのレベルが分かりませんから、明治30年に日清戦争の賠償金で京都帝国大学を作り、日露戦争遂行勝利のために東京帝国大学と競争させました。

これがうまく行ったので後に、東北、九州、北海道、京城（ソウル）、台北、大阪、名古屋に帝国大学を作っていく、競争させました。旧制高等学校を卒業すると、どこかの帝国大学に入れました。戦前の旧制高校、帝大の学生は語学に堪能でした。戦後はソウル、台北が日本ではなくなりましたので現在は、七帝大と呼んでいます。この旧帝大卒業者で学士会をつくり、本部は東京神田の学士会館にあります。運動部では七帝戦とか七大戦と称して交流しています。

幹事報告：渋谷義徳幹事



- ・地区幹事より 歴代地区幹事会開催のご案内
日時 2016年7月2日(土) 16:00～
会場 ホテルイタリア軒 別館 堂
- ・十日町RCより 創立60周年記念式典出席の御礼
- ・地区ロータリー財団委員長より
地区奨学生、グローバル補助金奨学生募集ポスター送付について

委員会報告

石丸 進国際奉仕委員長



28日から30日までソウル国際大会に会長、幹事と丸山 勝会員、私の妻も一緒に参加させて頂きました。2万5千人、午後からは更に2万5千人増え総勢5万人という大変大規模な大会で初めてでしたのでビックリしました。RI会長の挨拶の中で特にポリオ撲滅について強調されていました。また、韓国の国連事務総長からもポリオについてはロータリーの活動の成果に対して敬意を払うというお話でした。他に色々、課題はありましたが大きなテーマはこれだったように思います。皆さんのおかげで無事帰って来ました。ありがとうございました。

*****ロータリー財団ボックス31日現在累計449,000円*****

- 渋谷 義徳君 国際ロータリー「ソウル大会」に行ってきました。あらためて財団への協力を認識して来ました。
- 石川 一昭君 浅間会員の卓話に感謝して
- 田口実仁佳君 石川さんと目が合ったので協力します。
- 笹原 壯玄君 財団BOXのテーブルにつきました。協力致します。
- 羽賀 一真君 浅間さん、卓話ががんばって下さい。
- 本間建雄美君 BOXに協力
- 石川 友意君 浅間さんの卓話に感謝して



*****米山奨学ボックス31日現在累計520,000円*****

- 武田 恒夫君 目の前にすばらしいBOXカードがありました。
- 笹原 壯玄君 本成寺の行事とまへの御前様の本葬儀が終り肩の荷がおりました。
- 星野 義男君 浅間さんの卓話に感謝して!!
- 花井 知之君 協力します。
- 斎藤 良行君 //
- 樋口 勤君 BOXに協力



*****ニコニコボックス31日現在累計809,200円*****

- 浅間 一洋君 今日はよろしくお願ひします。
- 外山 晴一君 ソウル国際大会に渋谷幹事、丸山副会長、国際奉仕地区委員石丸ご夫妻と5人で行って来ました。
- 笹原 壯玄君 恒例の祠堂法要が天候も良く続き、四日間無事に勤める事ができ一段落です。
- 石丸 進君 浅間さん、卓話ご苦労様です。楽しみにしています。
- 柄沢 憲司君 浅間会員の卓話楽しみにしてきました。
- 今井 克義君 浅間一洋会員の卓話ありがとうございます。感謝申し上げます。
- 中條 耕二君 浅間さんの卓話、楽しみにしております。
- 米山 忠俊君 //
- 石川 一昭君 浅間会員の卓話に感謝して
- 渋谷 義徳君 浅間一洋さん本日の卓話ありがとうございます。

土田百合子君（イライラです）声帯のポリープが再発してしまいました。タバコも止めたのに・・・
大好きなカラオケも歌えなくてツライです。

佐藤 義英君 浅間さん卓話ご苦労様です!!ニコニコBOXも最後の追い込みです。
皆様も協力を!!

森 宏君 いつもご協力ありがとうございます。いよいよ残り1ヶ月よろしくお願
致します。



本日の行事：卓話 浅間 一洋会員



2009年7月に入会させてい
たからあつという間に6年が過ぎ、
あと1ヶ月で7年となります。今
回、卓話で「ロータリーについ
て」の話、ロータリーに入るキ
ツカケ、会社の事、ロータリー
クラブの在り方を

どのように考え評価されているか、などお話し
するようにとご依頼いただき改めて「ロータリー」
について考えてみました。

「ロータリー」の基本目的は職業奉仕（会員の
職業倫理を高めること）と、そこから広がる社
会奉仕と国際親善とがあるとお聞きしておりま
すが、平成16年7月13日の7.13水害を経験す
るまで奉仕活動というものを少しは思い当たる
ところですが、あまり意識してこなかったよう
に思えます。

7.13水害の当日は県央地場産業センターの大ホ
ールを会場にして、家具を販売しておりました、
前日のうだるような暑さに夜から降り続いた雨
のせいで地場産のあたりは、水浸しで家からや
つとの思いでたどりつきました。ですから展示
会場はガラガラでして、昼すぎでしたでしょう
か、避難勧告とか避難指示とか聞きなれない言
葉があちこちで飛びかっ
ていまして、自宅からの
電話で1階が水没したこと、工場の機械、トラ
ック、自家用車が全てダメになったこと、な
ど次々としてくる 嘘み
たいな情報に、どうし
たらよいか、皆が混乱寸
前でした。家に帰って
みると酷いありさまで
したが、とりあえず本
町にもう一つ家があり
ましたので、家族全員
避難しまして、なんと
か落ち着く事ができ
ていたので、次の日
から全力で動けていま
した。水害と直接関係
のない社員達と次から
次にかかってくる電
話に対応し今まで経験
したことのない忙し
さでした。

その2,3日後にお年寄りの声で「難しい事とは
分かっているが、とにかく何でもいいのでベ
ッドを持ってきてほしい。」とお電話をいただき

して、その時社員も出払って
いて誰もいなくて、どうし
ょうかと悩みましたが電
話から必死に頼む声に私
一人でベッドを持ってお
客様のところに向かうこ
ととしました。

向かっている最中は気持
ちの中でただ届けるだけ
だから簡単なことで、い
つもしていること、と思
いながらお客様のご自
宅に到着したのですが、
ご自宅の状況をみて本
当にびっくりいたしました。

その頃は、ボランティア
とか大勢活動していた
にも関わらず、その方
のご自宅は2,3日経ても
まだ誰も手伝いが無い
状況で、ただご自身も
どのようにしたらいい
のか分からず部屋の中
も泥だらけ、さらにそ
う中で過ごしているの
ことで、寝る時はタン
スの中身を出してそれ
を床に敷いてその上
で休んでいたようで、
さすがに我慢できず電
話したとのことでした。

自分ならすぐ助けを呼
んでいるところですが、
その年代の方々は気
丈でいらっしゃって誰
にも頼らないような所
を感じます。

この状況でベッドを組
むことはできないので
部屋の泥を取り、掃除
をしてからベッドを組
み立てました。食事
もあちこち回り最後
は厚生会館にたどり着
き、訳を話すとお弁
当を頂き、それをお
届けして、帰る際
にその方はぬれたお
札をお出しになり両
手を合わせて私に「あ
りがとう、ありがとう。」
と言われました。

私はその「ありがとう。」
という言葉とお客
様の顔を今でも思い
出します。

お得意さんからは、
家具屋は終わった商
売だとか言われたこ
ともあって、思い考
えていた頃でしたの
で、この事は、非常
に励みになったよう
に思います。もちろ
ん今までもお客様に
商品を購入していただ
き喜んでもらえるよ
う努力してきたつも
りですが、この時を
境に家具屋には、ま
だ家具屋の役割も残
っているのだな、と
思うようになってお
りました。

水害後、五十嵐川の
土手通りの嵩上げ等
で店舗や工場の改装
が落ち着いた頃、米
山様と餞心亭おノ
乃の大野会長が突
然お店にご来店され
ロータリーについ
て熱く語っていただき
、その熱意

に圧倒され入会させていただくことになるのですが、私自身もともと何かのクラブや集まりが苦手で前にも4~5回?本町の布団屋さんとか、鍛冶屋さんとかから、そのようなお誘いをいただいておりますが、全てをお断りしていました。なるべく近づかないようにしていました。でもこの時なぜか入会させていただこうかなと思ったのは今思えば水害でのお客様の一件、その他にも思い出のある家具の修理依頼・大切な物が入っていて水で膨れて開かないタンスを後で修理できるよう壊して開ける依頼とか商品を販売する以外のご依頼を多くのお客様から頂いたことにより少しずつ仕事を通しての奉仕活動について考える機会をすでに自然と頂いていたことによると思います。

ロータリーに入会后、なかなか例会などに参加できないことも多いのですが仕事を通じての社会奉仕について思う機会が多くなりまして、三条市や燕市の施設に例えば柱時計とか、車いすとかプレゼントしております。

また、皆さまご存知の手織り絨毯ですが多くはインドやネパール、パキスタン、などの南アジアで製作されています。その中の一部商品で数多くの児童を悪条件で働かせてできた物があります。そんなカーペット産業における児童労働の問題に、従来の法律や条約での制限ではなく、市場原理を利用したアプローチで取り組んだ活動があります。

それが「ラグマーク運動」というものです。ラグマークとは児童労働が使われていないカーペットを証明するためのラベルで、児童労働者によって作られているかもしれないカーペットとの差別化を行なうための運動として、南インドを中心に1980年代後半から広がりました。このラグマークがカーペット産業自体の構造変化を消費者側から変えていく方法として広がり、ラグマークだけの成果ではありませんが、1994年には100万人と言われていた児童労働者数が、近年には30万人にまで減少したといえます。しかしこの話は、悪条件といえども働く場を奪っているとの側面も感じますが、この話をメーカー様から聞き当社でも今まで開催していた絨毯展示会を更に厳選し、このラグマークの絨毯などを販売するなど微力ではありますが、何かしら貢献できるのではと考えております。ただ、最近はお客様からのご依頼で国産の防ダニカーペットを多く展示するようになりました。高額なペルシャ絨毯やパキスタン絨毯の展示も少なくなっております。

また、F4(フォースター)といわれる材料や接着剤などで有害物質のホルムアルデヒドを使用し

ていない環境に配慮した家具の販売や製造、もちろん許可を取ってからですが三条市の各学校の机・椅子の交換で出た古い天板材で表面を削って新たに椅子として加工したり、引き取り商品の中でまだ使用できるベッドのフレームやソファを、こちらもまた許可を頂いてクリーニングしたのちに学校の寮や福祉施設に無料でご使用いただいたりしております。このことがキッカケとなり、今ではソファのクリーニング、丸洗いのご注文をいただくようになりました。ちなみに、ソファはワンシート5000円位ですので3人掛けなら×3の15000円位です。洗えないものもありますが。

また、当工場でもF4スターの接着剤を使用し、人にも環境にも優しい家具作りを心掛けております。2年ほど前の話になりますが、旧下田にあります役場の美術品収蔵庫の物品棚製作をご発注いただきました、しかし物品棚自体がPH7(ペーハー7)の中性であることが指定となっており私自身初めての経験でした。

PH7(ペーハー7)の中性であることがなぜ難しいかといいますと日本に生息している木材はほぼ酸性でPH4~5、ペーハーを測る簡易検査キットを購入しいろいろ試してはみたのですが、材料探しから苦労致しました。ただ唯一オカムラというメーカーに国レベルの博物館や美術館にも収めているというPH7(中性)を保っている材料があり、ちなみにインセクターボードといいます。その材料を仕入れることができ安堵したのですが、もちろん接着剤も中性でなければなりませんし、製作中は今どきの時期で少し暑くなりつつありましたが汗を垂らすことや、人が直に材料に触れることも材料が酸性に傾くため手袋を着用したりと 심각한状態で製作し、納品させて頂き、その後の検査も無事に終了いたしました。

普段はここまで厳しい指定の商品を作るということはありませんが、ここ数年特注品に限らずメーカー商品の材料や塗装、臭いについてお客様からご質問を受けることが多くなりました。建物、住宅だけでなく家具も環境や人に優しい物を多くのお客様が望んでいるのを実感しているところでもあります。そのような家具作りをさらに進めていかなければと思っております。さて、これまでは私の仕事の変化と社会奉仕について話してきましたが、次は数少ないロータリー経験ですがライラ研修についてお話しさせていただきます。つぎの年度もライラ委員です。

ライラ(Rotary Youth Leadership Awards)はこれまで2回同行させていただいておりますが、1

回目は柏崎ロータリー主催、2回目は加茂ロータリー主催のものに参加いたしました。

若い社員と共に行動し、1回目の柏崎ロータリー主催では刈羽にあります東京電力原子力発電所を見学し、次に様々なロータリーから参加している若い社員同士でディスカッションし意見をまとめ発表をするオリエンテーションを見させていただきました。

この時は当社員も参加したのですが、日頃の仕事ぶりは分かっていたが仕事をしている姿とはまた違った面をみることができ、私自身にとっても有意義な研修となりました。

2回目のライラ研修は加茂にあります桐子様の工場を見学させていただきました同業者の工場を見学できる機会など滅多にありませんのでとても良い体験をさせていただきました。

ライラ研修の理念であります青少年の成長を支援することなどまだできておりませんが、このような研修に参加し、企業の見学やオリエンテーションなどを通しやはり若い人たちには溢れんばかりのパワーを感じることができました。そのパワーを発揮できるよう我々が時にはサポートし、助言を与えられるようにこれから精進していきたいと思えます。

若い人たちには、と申しましたが、私もいつの間にか来年で50になります。

最近お店にくるお客様からは、「お父さん」とか、「ツアーツアー」とか呼ばれて大変ショックを感じており、服装など、お客様からの見られ方を気にするようになってきているところです。

ちょうど、私の長男も大学で国際インストラクターをしております、こんな機会があれば、ぜひ参加させたいと思うところです。ただ、うちのライラ研修に参加させて頂いた社員は、何か感じ、何か思うところがあったのか、会社を辞めて今は、東京で頑張っているようです。

私は、年間5~6回九州や北海道など家具産地に仕入れに行くのですが、実は家具屋にはロータリアンが非常に多く、この前は福岡、佐賀のロータリアン、その前には熊本は芦北のロータリアン、山形のロータリアン、ただバッチを付けているだけで友達のような感覚になり、全国各地でとても心強く感じます。

私自身もなかなかロータリーの会員として例会などに出席できていないので大変申し訳なく思っておりますが、しかし会員となってから例会に参加するたび様々な方とお話しできロータリーのこと、仕事のヒントなど多くをいただいております。皆さまに感謝でいっぱいでございます。

6月のお祝い

誕生日

会 員	
澗岡 茂	2
本田 芳久	3
本間建雄美	9
石川 勝行	13
神子島岩男	19
柄沢 憲司	25
樋口 勤	25
佐藤 弘志	26
高橋 研一	28

ご夫人	
坂本 敏子	7
吉田由美子	13
白倉 満江	16
佐藤 君子	28

結婚記念日

斎藤 良行・ことみ	4
田中耕太郎・雪江	5
岡田 健・美代子	6
福岡 信行・則子	6

東RC・北RC合同ゴルフ大会（第2回）

5月21日(土)下田城ゴルフクラブ

優勝：米山 忠俊

準優勝：石川 一昭

三位：岡田 健



三条北ロータリークラブ



ハイライトよねやま 194

2016年5月13日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 —残り2カ月もよろしくお祈いします—

4月までの寄付金は前年同期と比べ4.6%増、約5,700万円の増加です。普通寄付金が0.8%増、特別寄付金が6.4%増となりました。今月は大口寄付金を多くいただいたことにより、今期累計で13億円に到達することができました。皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。本年度も残り2カ月弱となりました。普通寄付金をまだお送りいただいていないクラブがありましたら、お早目にご送金くださいますようお願い申し上げます。

熊本地震に学友からの支援が続々

4月14日と16日、熊本県熊本地方で震度7を観測する大地震が発生しました。被害を受けた皆さま、今なお避難生活を余儀なくされている皆さまへ、心よりお見舞い申し上げます。

第2720地区(熊本・大分)米山記念奨学会委員会は、同地区米山学友会と連携し、すぐに現役奨学生と学友会メンバーの安否を確認して、全員と連絡を取ることができました。奨学生・学友の中には自宅が損壊し、一時的に避難生活を送った人もいますが、現在は安全な場所に移っています。

このニュースに米山学友が続々と支援に立ち上がりました。

まだ余震がつづく20日、米山学友のジギヤン・クマル・タパさん(2008-09/横浜たまRC)からは「ネパール大地震の恩返しをしたい」と、神奈川県から熊本市まで電車を乗り継ぎ、在日ネパール人の皆さんとともにカレー炊き出しをしてくださいました。

第2640地区(和歌山・大阪)米山学友会では21日、義援金30,000円を第2720地区「ロータリー熊本地震総合支援室」へ送金してくださりました。

中国米山学友会(上海)からは27日、「かつてお世話になった日本のロータリーへ復興の手助けをしたい」と、学友たちが出し合った194,894円が当会へ送金され、全額を当会から第2720地区の上記支援室へ送金しました。

また24日には、第2720地区米山学友会が大分市内7クラブ合同ロータリーデーにてバザーと募金活動を行い、全額の156,945円を熊本へ寄付しました。大分県のみなさんもまだ不安が続くなかでの活動です。同学友会の全紅女会長は、「みんなの温かい気持ちが熊本に届き、これからの復興に少しでも役に立つことができれば……」と、祈りを込めて話してくださりました。

皆さんのお気持ちに感謝いたします。

